

## 公共建築工事標準仕様書 / 公共建築工事改修標準仕様書 対応

## ピグメントステイン塗り (ST)

## 1. 適用範囲

工事名：  
工事場所：  
施工業者：  
塗装業者：  
特約店名：

## 2. 材料

VATON<sup>FX</sup> 各色 F☆☆☆☆ O01007

## 3. 施工部位

内外装木部

## 4. 工程

工程	塗料その他		塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> )	乾燥時間 (23℃)
	規格番号	製品名		
素地ごしらえ	新設時：表 18.2.1 木部の素地ごしらえによる B 種 改修時：表 7.2.1 木部の下地調整の RB 種		—	—
1	着色	JASS 18 M-306 VATON <sup>FX</sup> 各色	内装：0.03 外装：0.06	16 時間以上
2	ふき取り	(内装のみ適宜) 全面白木綿布片でふき取る。	—	
3	着色むら直し	JASS 18 M-306 VATON <sup>FX</sup> 各色	内装：0.03 外装：0.06	—
4	ふき取り	(内装のみ適宜) 全面白木綿布片でふき取る。	—	

- (注) 1. 木部の素地ごしらえ、木部の下地調整の種別は、塗料その他の欄による。  
2. JASS 18 M-306 は日本建築学会材料規格である。  
3. 改修時、新規に塗装を行う場合は、木部の下地調整に代えて、木部の素地ごしらえを行う。

## 5. 注記

- 本仕様は、公共建築工事標準仕様書(令和 7 年度版)に基づいた仕様です。
- 改修時、既存塗膜がピグメントステイン塗り (またはオイルステイン塗り (OS)) の塗替えの場合は表 7.2.1 木部の下地調整の RB 種、新規に塗装行なう場合は表 7.3.1 木部の素地ごしらえの B 種を適用して下さい。既存塗膜がある場合、表 7.2.1 木部の下地調整の RA 種 (既存塗膜の全面除去) 等を適用して下さい。
- ステイン塗りに塗布量の記載はありません。上記塗布量は公共建築工事標準仕様書(平成 31 年度版)のオイルステイン塗り (OS) の塗付け量、公共建築工事標準仕様書(令和 7 年度版)木材保護塗料塗り (WP) の塗付け量です。
- 乾燥・塗り重ね時間は、温度・湿度等の条件により異なります。5℃以下や多湿時の塗装は避けて下さい。
- 使用したウエス等は自然発火の恐れがありますので、破棄するまで水に浸す等適切に処理して下さい。
- 外装に適用する場合、「VATON<sup>FX</sup> #501 透明」の単独使用は避けて下さい。  
顔料を配合していませんので、耐候性がありません。
- 製品詳細は、製品カタログや SDS 等を参照して下さい。

以上 大谷塗料株式会社